

第五号議案

令和7年度活動計画（案）

はじめに

3年間にわたるコロナ感染症の影響は少なくなってきましたが、日本中で地震の発生報道がされています。そんな中、南海トラフ地震の発生予測や被害想定の見直しが行われました。奈良県でも見直しが図られています。今後奈良市の被害想定も発表されると思います。

それぞれの組織において少子・高齢化・人口減少の影響を受け、「自主防災会の担い手不足」や「高齢化で活動ができない」等、また、地域における人間関係の希薄もかさなり、課題も散見されています。自主防災組織にあっても、まだまだ課題解決のために取り組みなければいけないことがたくさんあります。

そこで、本年は、それぞれの自主防災組織の実態調査を行ない、それぞれの地域にあった活動がさらに活発に行われるように推進を図ってまいります。

また、住民・市民の中に防災に対する関心は増大していますが、まだその備えは十分とはいえません。そこで、地域（各自治会）での地震への備えの推進を図っていきたいと思います。

（あるアンケート結果でも住民の関心の第1位は「防災」に関することだそうです）
そのために、自主防災組織間の連携をはじめ奈良市との連携協働や防災関係団体との連携も深めてまいりたいと思います。

基本方針

自主防災組織の強化と連携で市民を守ろう

重点取り組み

- 1、自主防災組織の活性化 テーマ「特色の発揮」で地域づくり
 - (1) 組織の実態アンケートの実施
 - (2) ブロック別意見交換会の実施。
 - (3) スマホ等の活用で連携強化。

- 2、地区防災計画づくりの推進 テーマ「自主防災主導の防災活動」で地域づくり
 - (1) HG・DIG・クロスロードゲーム・マイタイムライン等の講習会の開催
 - (2) 防災マップづくり講習会の開催
 - (3) スマホ（電話機でなくパソコン）の使い方講習会の開催を行います。

- 3、防災関係団体との連携強化 テーマ「顔の見える連携」で地域づくり
 - (1) 自治連合会との意見交換会の実施。（災害弱者対策）
 - (2) 地域内（小学校区内）防災関係者との連携を図る。

- 4、防犯活動の推進強化
 - (1) 青色パトロールとの連携と活動の推進
 - (2) 防災教室の開催を推進